

土木計画学研究委員会報告

平成20年11月2日

報告内容

- (1) 平成20年度の委員会構成
- (2) 平成20年度の委員会活動計画
- (3) 委員会の重点課題への取り組み状況
 - 夏合宿の実施(春大会時に予告)
 - 論文集再編に対応する委員会の活動開始
 - 環境・地域・社会資本問題検討委員会の設置
- (4) 幾つかの委員会活動の報告
 - 国際セミナー
 - 内規改定
 - HPのスタイル更新

(1)平成20年度 土木計画学研究委員会 委員構成

委員長	石田東生(筑波大学)	
副委員長	新田保次(大阪大学)	桑原雅夫(東京大学)
学術小委員長	原田 昇(東京大学)	
学術小副委員長	森川高行(名古屋大学)	
小委員長	内山久雄(東京理科大学)	山中英生(徳島大学)
	黒田勝彦(神戸市立工専)	小林潔司(京都大学)
	谷口栄一(京都大学)	喜多秀行(神戸大学)
	西井和夫(流通科学大学)	宮本和明(武蔵工業大学)
	多々納裕一(京都大学)	
幹事長	屋井鉄雄(東京工業大学)	
委員	石川雄章(東京大学)	藤原章正(広島大学)
	高久寿夫(鉄道・運輸機構)	辻本勝久(和歌山大学)
	田中倫英(国土交通省)	青木英明(共立女子大学)
	水谷 誠(国土交通省)	宇佐美誠史(岩手県立大学)
	前田信幸((株)建設技研)	
委員兼幹事	石倉智樹(国総研)	菊池 輝(京都大学)
	寺部慎太郎(東京理科大学)	波床正敏(大阪産業大学)
	花岡伸也(東京工業大学)	矢部 努(計量計画研究所)
	岡村敏之(横浜国立大学)	小川圭一(立命館大学)
	佐々木邦明(山梨大学)	羽藤英二(東京大学)
	福田大輔(東京工業大学)	松島格也(京都大学)
幹事長補佐	泊 尚志(東工大博士課程)	

(2) 平成20年度の委員会活動計画

○計画学研究委員会の重点課題(春大会時に説明)

地球環境持続性に関する技術の確立

環境目標・基準の設定

持続型社会の構築に資する技術の研究

地球温暖化緩和・適応技術の確立

環境評価技術の確立

良質な社会基盤整備への貢献

適正な社会決定プロセスの支援・提言

都市再生に資する技術の確立

計画・制度、社会基盤施設の維持管理など

要素技術の確立

→H20年度の詳細は委員会資料としてHP公開

(各小委員会, 新たな小委員会による対応などが中心)

**(3) 委員会の重点課題
への取り組み状況**

○土木計画学研究委員会夏合宿の実施

委員会活動の今後の方向性を集中討議するため
平成20年7月26－27日 に熊本県阿蘇郡で開催

- (1) 論文集再編を前提とする研究分野別理念の確立
(研究分野の重点方向検討を含む)
- (2) 地球温暖化対策など学会総力戦(重点課題)
へのリーダーシップ形成
- (3) 産官学の総力戦(社会制度設計)と学の役割の再認識
(学会中期計画への積極対応:
計画・制度, 地球環境, 社会決定プロセス他)
- (4) その他
→(1)から(3)の基本的な方向性と検討体制を確認

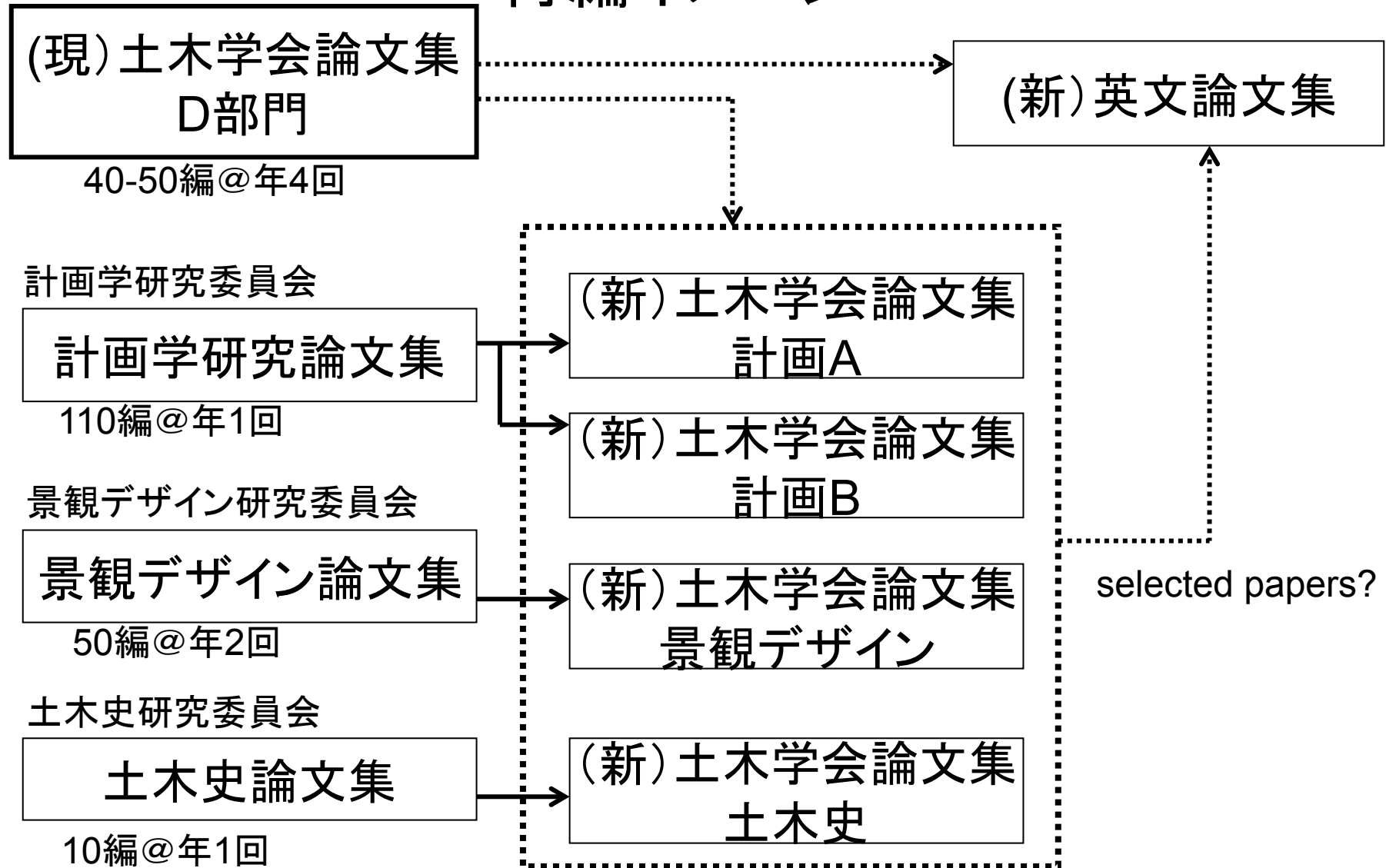
参加者

石田, 新田, 桑原, 原田, 西井, 溝上, 朝倉, 喜多, 藤原, 石川, 水谷, 前田,
藤井, 加藤, 小根山, 屋井, 佐々木, 寺部, 小川, 松島, 福田, 橋本 (以上22名)

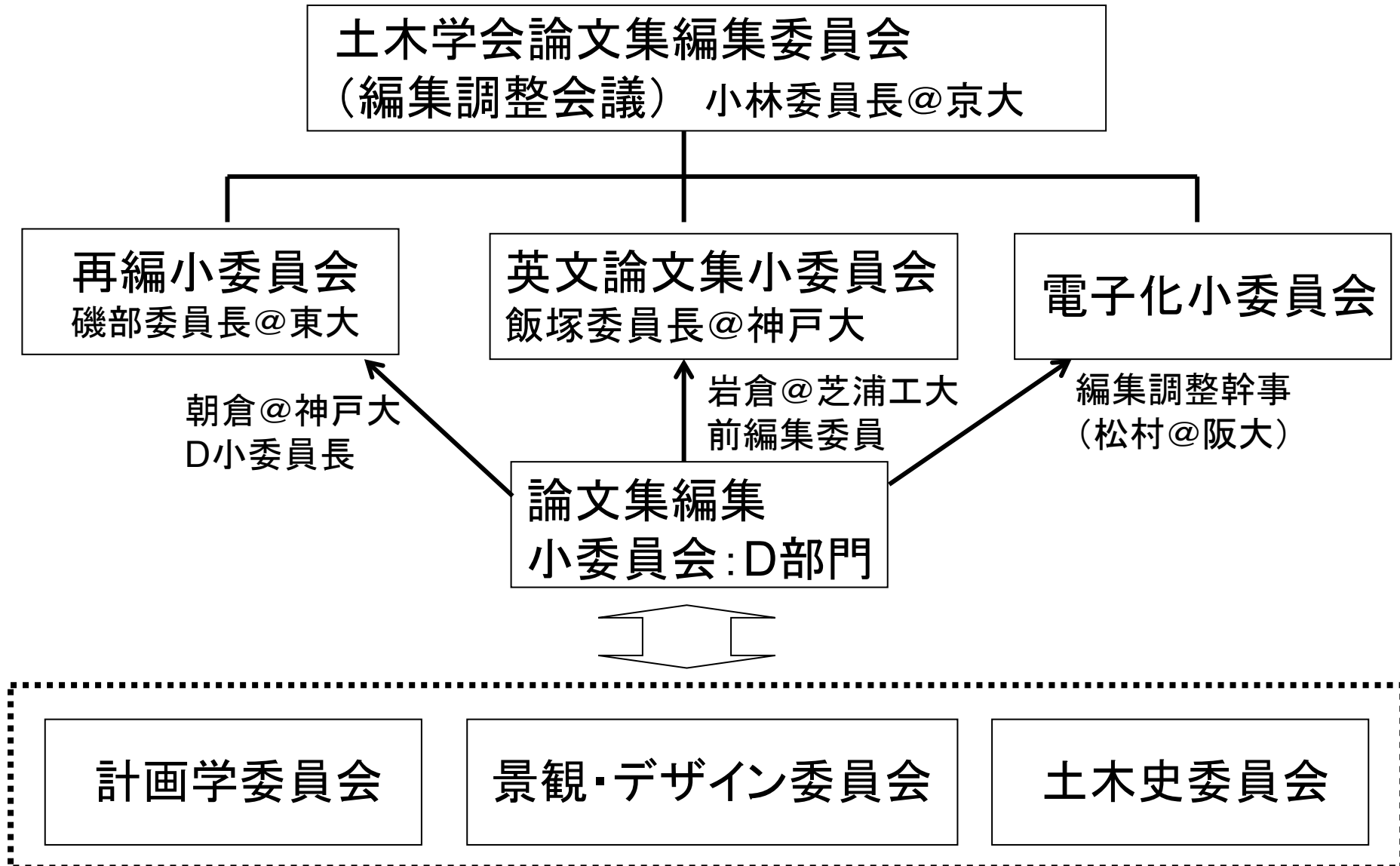
○ 論文集再編への委員会の対応

(朝倉D部門小委員長を中心に検討)

再編イメージ



議論の体制



○「環境・地域・社会資本問題検討小委員会」設置

(別名： かたち・人材・連携を考える小委員会)

(1. 動機)

行政システム，特に社会基盤の整備・管理に係る制度やシステムが，社会の信頼を失っている現状を危機と捉え，

(2. 目標)

今後の社会・地域基盤形成とその分野への優秀な人材確保のため，

(3. 当面の手段)

政策・計画や人材活用等の制度確立による，

(4. 当面の目的)

行政裁量の適正化と透明化，
多様な主体の関与等が重要との認識に立ち，

(5. 委員会の立場)

これを独立した学会の立場から考察し，

(6. 外へのアクション)

あるべき計画制度や人材活用の仕組み等を提言し，

(7. 自主的なアクション)

これらを理念的かつ理論的に支える研究分野の創設可能性を深く検討すること， を目標に活動を行う。

環境・地域・社会資本 問題検討小委員会 の構成 (H20.11.2現在)

顧問
顧問
小委員長
副委員長
副委員長
副委員長
副委員長
幹事長
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
委員兼幹事
調整幹事
調整幹事

石田東生
新田保次
屋井鉄雄
田村 亨
石川雄章
前田信幸
水谷 誠
寺部慎太郎
岩佐賢治
岡本直久
小根山裕之
加藤浩徳
金子雄一郎
久保田尚
谷口 守
羽藤英二
福本潤也
藤井 聡
室町泰徳
毛利雄一
矢嶋宏光
福田大輔
鈴木 温

筑波大学
大阪大学
東京工業大学
室蘭工業大学
東京大学
株)建設技術研究所
国土交通省
東京理科大学
財)計量計画研究所
筑波大学
首都大学東京
東京大学
日本大学
埼玉大学
岡山大学
東京大学
東北大学
東京工業大学
東京工業大学
財)計量計画研究所
財)計量計画研究所
東京工業大学
名城大学

→小委員会の活動は
HPを通じて適宜公開
の予定

(4) 幾つかの活動の報告

○国際セミナーの活性化とスキームの提案

花岡

1. 目的

- ・土木計画学研究委員会「国際セミナー」を活性化
- ・各大学の土木計画学系研究室の国際研究教育活動と連携, 情報共有
- ・委員会の活動目標に照らし, アジア交通学会やその他学協会等との連携強化

2. 国際セミナーの活性化のための方法

- ・訪日外国人研究者の滞在データの共有
- ・主催・共催で国際セミナーのシリーズ開催を定型化
- ・セミナー案内を関係団体等に広く配信
- ・実施記録をウェブ等に公開
- ・講演者への証書・感謝状等の発行

共催のタイプ	テーマ・参加者	発表者	謝金
①計画学単独	国際関連全般・大学向け	原則的に外国人	なし
②EASTS-Japan単独	アジア関連	外国人・日本人（日本語発表も可）	あり
③計画学・EASTS-J共催	アジア関連	原則的に外国人	EASTS-Jが筆頭共催者の場合はあり。逆はなし。
④計画学・その他学協会共催	国際関連全般・実務者向け	原則的に外国人	あり（その他学協会から）

○土木計画学国際セミナーの開催状況

- 第1回国際セミナー(タイプB) 2008年5月21日
Dr. Hiralio Sean Palmiano(フィリピン大学ディリマン校講師)
Mr. Marloe B. Sundo(フィリピン大学ロスバニョス校講師)
- 第2回国際セミナー(タイプA) 2008年7月11日
パスカル氏、スティーブ氏来日記念 自転車とまちづくりセミナー
～オランダと米国から 市民による自転車まちづくり～
- 第3回国際セミナー(タイプB) 2008年9月10日
Mike Bell教授(Imperial College London)
- 第4回国際セミナー(タイプA) 2008年9月16日
William Young 教授(Monash University, Australia)
- 第5回国際セミナー(タイプA) 2008年9月16-17日
マイクロエリアの都市交通国際会議(発表者多数)
EASTS-IRG久保田教授代表)
- 第6回国際セミナー(タイプB) 2008年10月15日
Henrik Gudmundsson博士(Technical University of Denmark)
- 第7回国際セミナー(タイプA) 2008年10月23-25日
2nd T-LOG/EASTS Logistics IRG Seminar(発表者多数)

○委員会内規細則の改定

藤井, 石倉

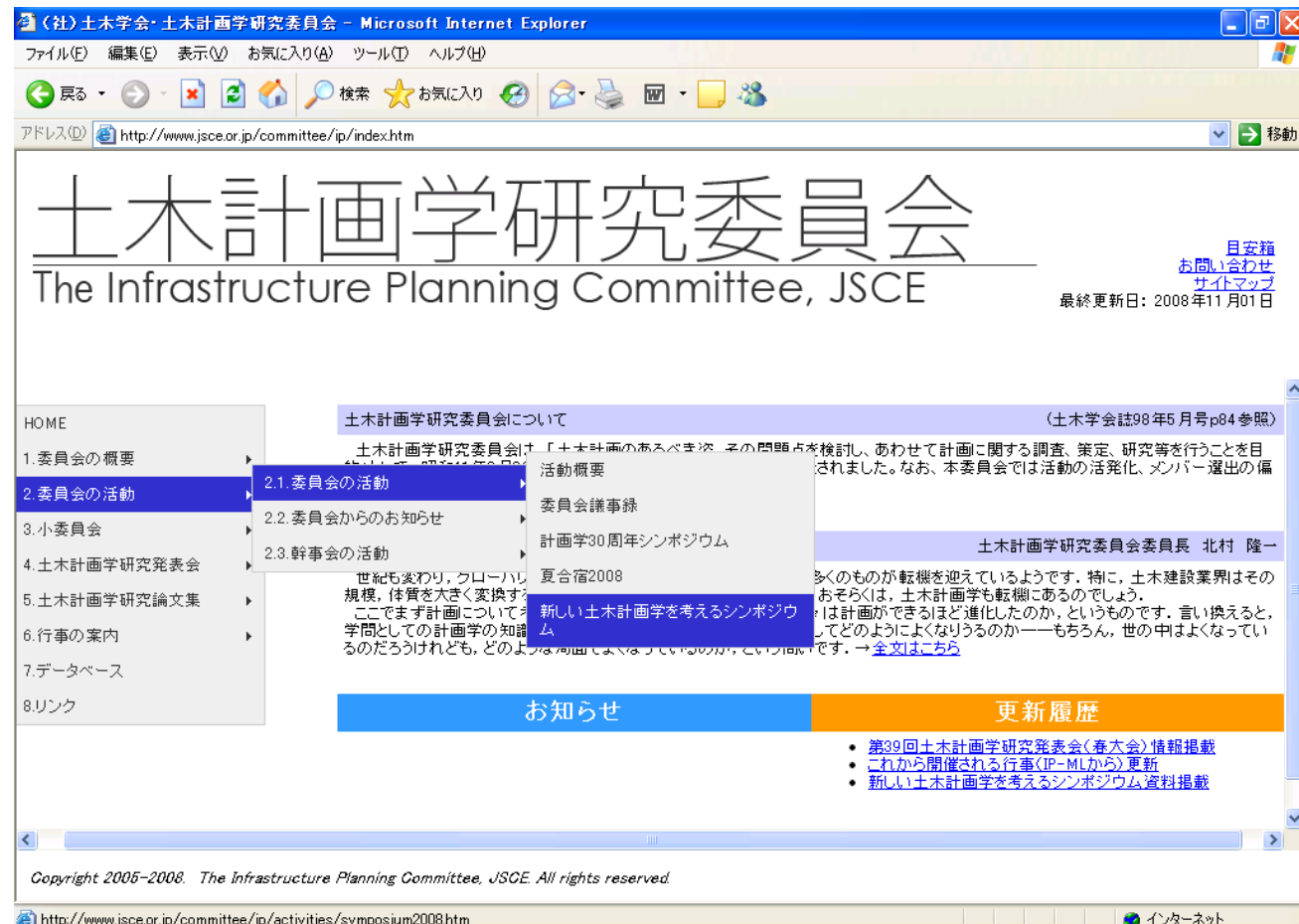
- 従来, 曖昧であった細則の確定
- “事業運営委員会”というスキームの設立
- 研究小委員会の存置期間の明確化

→HPで公開するので確認されたい

○委員会ホームページのシステム改善

菊池, 矢部, 福田

- ・必要最小限のフレーム構成(左側に見出し)
- ・各小委員会やワークショップ、セミナー等に共通のフォーマット
- ・本研究発表会の終了後、早期に差替え
- ・その後、順次拡充予定



終